



↑ 3県知事や3県架橋議員連盟によるあいさつ



↑ オープニングを飾った城川内郷土芸能保存会



↑ 三反園知事から表彰を受ける楠元仁道さん



↑ 大会決議を発表する川添町長

3県架橋を実現させよう

島原・天草・長島架橋構想、九州西岸軸構想推進地方大会

島原・天草・長島架橋構想および長崎・熊本・鹿児島県の3県を地域高規格道路で結ぶ九州西岸軸構想の推進地方大会が12月17日、長島町文化ホールで行われました。

同大会には、3県の経済界や行政関係者ら約800人が参加。本町からも企業や団体、行政の関係者らが参加して、早期実現へ氣勢を上げました。

平成12年以来16年ぶりに本町で開催された同大会。城川内郷土芸能保存会による鐘踊りで幕を開けました。

はじめに、毎年募集している同構想絵画コンテストの表彰式が行われ、鹿児島県の部で最優秀賞となった城川内小学校3年の楠元仁道さんと、長島中学校1年の福永碧斗さんに壇上で、三反園訓鹿児島県知事から賞状が手渡されました。

講演会では、JR九州の石原進相談役が登壇し「三県架橋と観光」について、外国人の誘致など架橋による観光産業発展の可能性について話しました。大会の終わりに、開催地を代表して川添町長が歓迎の言葉を述べた。

を述べた後、三県架橋の調査の再開、必要な道路整備の予算確保など大会決議についての提案を読み上げ、参加者から多くの拍手を受け、大会決議案が採択されました。

この構想は長島海峡(約2キロ)と長崎県島原半島―熊本県天草下島の早崎瀬戸(約4.5キロ)の2つの架橋を含む高規格道路で3県を結び、実現すれば陸路で約7時間かかる鹿児島市―長崎市が3時間半弱で結ばれることとなります。